

知恵の樹

No. 175 2013. 5. 15

町田の図書館活動を
すすめる会

事務局：町田市森野3-1-12 増山方
〒194-0022 FAX 042-722-1243



図書館まつり・・・その可能性を探る

第2回 まちだとしょかん子どもまつり～本はともだち～ を終えて

増山正子

◇はじめ

「国民読書年」の2010年、町田市立中央図書館は開館20周年を迎え、11月23日(火・祝)から6日間にわたって、市民協働による「ぶらり・ライブラリー in 町田」と題した記念フェスタを開催した。図書館員による様々なイベントと共に17団体がそれぞれの企画を持ち寄り、期間中1500名近くの市民を呼び込んだ。(参照「知恵の樹」155号156号)。終了後の話し合いでは、「祭りを毎年やって欲しい」と継続を希望する市民と、「今後も、皆さんの活動を発表する場としてこうしたお祭りを・・・」という職員からの意見があり、翌年度より、「としょかんで子どもまつり」が始まった。

図書館に団体登録をしている会に働きかけて始まったこの祭りは、子どもの本に関わっている団体が多きことから必然的に「子どもまつり」となり、町田市立図書館全館、ましてや中央図書館の共通認識がきわめて乏しい中で、中央図書館の児童担当が中心となって見切り発車されたのではと思われる。

そして市民の側の多くは、先述の図書館員が発したことば「皆さんの活動を発表する場として・・・」を素直に捉え、それぞれ自分たちの活動を発表できる場として、また、会場の心配なしにやりたいイベントを企画できる祭りとして参加した趣がある。

◇市民協働とは、同じラインに立つこと

第1回の祭りは、私自身旅に出ているので参加できなかったが、イベントの参加者が600人を超え成功裏に終わったと喜んでいるのを見て、図書館の祭りを打ち上げ花火的なものとして捉えているように感じら

れ少々違和感を持った。ボランティアとして図書館を支えてくれている人たちに楽しい発表の場を提供し、子どもたちに参加してもらおうという図書館側の思いがあったのだろうが、Give&Takeの考えでは、市民協働は決して成り立たない。ただでさえ忙しい職員は、祭りをやることで仕事を増やしたくないと思うだろうし、市民は言われたことに従いつつも職員に要求をだし続けるであろう。

◇地域の人と地域の図書館のつながり

市民との協働で、市立図書館全7館で図書館まつりを実施することができたらどんなにいいだろう。

「祭り」では、ひとり一人の市民がどういう可能性を秘めているのか、広がりを持っているのか、人間の可能性を信じてもっともっといろいろなことが出来るのではないのか。地域の老若男女を巻き込み、近くの図書館まつりに参加して図書館の魅力を発見する・・・。図書館は、いろんな時代の情報に出会える場であり、図書館には、どんなものにもでも繋がるものがある。図書館に来たことのない人が、面白そうな催しに惹かれて足を踏み入れ、道草のように書架を巡りながら本を見つける。そして新しい発見をする。「祭り」を通して、利用者を増やし、図書館が市民の役に立つ施設であることを知ってもらうチャンスにもなる。

地域の市民と協働での祭りが、市立図書館全館で定着したならば、委託問題が入り込む余地などなくなるだろう。図書館が公共であることの意味は深い。

◇実行委員長を引き受けて

図書館祭りをどのように考え構築していけばいいのかを、共に考えてみたいと思い、私は第2回祭りの実

行委員長を引き受けた。

そして、全館で取り組んでくれるよう提案したが、木曾山崎図書館1館が日常のおはなし会を祭りに組み込むということで応じてくれた。しかしそれは図書館内部からではなく、地域館と関わっている団体からの働き掛けによるものであった。

協働するには、地域館と団体・市民との繋がりがなければならない。町田の場合、残念ながら各館協働体制が取れていないのが、一つのネックになっている。仮に、地域館に登録しているお話ボランティア(個人ボランティア)に働きかけて祭りをやるとしたら、まず、協働体を作ることから始めなければならないのだ。これ以上仕事を増やしてくれるなよ、と職員が尻込みをするのは仕方のないことだ。

とりあえず、第2回のお祭りは、中央図書館と山崎図書館で行うことにして、徐々に地域館を巻き込んでいければと思う。

◇第2回子どもまつり実行委員会

2012年10月16日、初めての実行委員会が持たれた。そこでもやはり「発表の場が少ないのでやらせて欲しい」「発表の場が欲しい」といった声が多く聞かれ、ボランティアの意識改革も必要であることを改めて認識した。期間は3月28日(木)～31日(日)、6Fホールとおはなし室を会場に、各団体企画のスケジュール調整を行った(次ページ参照)。祭り期間中、児童フロアのじゅうたん敷きの宝島で、科学遊びや紙芝居をして会場に入らない人にも楽しんでもらえればと図書館側に働きかけたが、他の利用者からうるさいと苦情が来るからということで実現しなかった。昔はおはなしフェスティバル等で賑やかに絵本を読んだりパネルシアターをしたりしていたのだが、年々利用者の苦情が多くなっているようで、職員も対処に苦労している由。

祭りのための図書館の予算は昨年同様0円。とりあえず参加10団体(おはなし玉手箱/おはなしはすの実/かえで文庫/野津田・雑木林の会/花いかだ/ピッポのくつした/マザーリーフ/NPO法人まちだ語り手の会/町田の学校図書館を考える会/町田ブックトークの会)が、1,000円ずつ出しあって、チラシ等にかかる必要

経費に充てることにする。

前回使えなかったエレベーター壁のショウウィンドウやガラスケースは、図書館の方で年度初めに予約を入れて確保して下さったことから、祭りのサブタイトル「～本ともだち～」に則した展示や、参加団体の個々の活動をゾーンで紹介したり、壁面を使って写真や地図で市内における子どもと本を結ぶ場所や活動についての紹介を展示することが出来た。

◇中高生も舞台に

参加団体が個々に出す企画とは別に、新しい試みとして、実行

委員会企画の団体ミックスおはなし会や小学生対象のアニメーション、中学校3校の協力で10人の生徒さんたちの語りによる「中・高生によるおはなし会」を開くなど、来場者の層を広げることに務めた。

学校の先生方の理解を得て催すことが出来た中高生の語りは大変好評で、思わずホールから漏れてくるイキイキとした声に引き込まれて入ってきたという若者や、来年もぜひ続けて欲しいという声が多く寄せられたし、おはなし会に関しては、普段子どもが騒ぐと悪いので参加できなかったが、お祭りだから来てみた。親子で楽しい一日を過ごすことが出来た、など、たくさんの感想が寄せられた。

4日間を通して、984名の方が祭りのイベントに参加、その内、初めて図書館に来たという人も数多くいたようだ。

実行委員会は作業日を含め実質10回ほど参加団体総意の下に進められた。協働のお祭りで、皆が一緒に出来る場をどう構築していけるか、そのキーマンを果たすのが公共機関である図書館。中央図書館児童サービス担当の方々が事務局として行政間の面倒な手続きや記録や準備など裏方で働いてくださった。改めて感謝したい。

第3回の「祭り」は、3月27日(木)～30日(日)に開催予定が決まった。ブックカフェやビブリオバトル、群読や音楽会、クイズ・・・、多くの市民や職員が様々なアイデアを持ち寄って、子どもと共に大人も楽しめる町田市立図書館全館の「としよかん祭り」。

そんなのは、夢かなあ～。ま、少しずつステップアップしながら、楽しく進めていきましょう！(代表)



オープニングで挨拶をする近藤副館長

第2回 まちだとしょかん子どもまつり スケジュール

日付	会場	午前	午後
3月28日 (木)	ホール	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニング／挨拶:近藤副館長 ●おはなし会(団体ミックスによる) <ul style="list-style-type: none"> ・10:30～11:00 幼児から ・11:15～12:00 小学生から (実行委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会(明治学院大学学生) ●アニメーション:岩辺泰吏氏 「おはなし・おはなし・よい読者、おもしろ作家になろう」 ・13:30～ ・14:00～ 小学生 (実行委員会)
	おはなしの部屋		<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> ・13:30～ 乳幼児、親子向け ・14:30～ 〃 (おはなし はすの実)
	木曾山崎図書館	<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> ・11:00～ 乳幼児向け (おはなしポケット+職員) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> ・15:00～ 低学年～中学年向け (職員)
3月29日 (金)	ホール	<p>柚山明子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みんなで楽しむ わらべうたあそび ・11:00～12:00 乳幼児 (かえで文庫) 	<p>図書館定例映画会</p> <p>「E T」14:00～</p>
	おはなしの部屋		<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし いっぱい！ <ul style="list-style-type: none"> ・13:30～ 幼児～ ・14:30～ 小学生～ (NPOまちだ語り手の会)
	木曾山崎図書館		<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> ・14:00～ 乳幼児向け ・15:00～ 大きい子向け (おはなし玉手箱)
3月30日 (土)	ホール	<ul style="list-style-type: none"> ●絵本と演劇 ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・10:20～ 小学生以上の子ども (ピピのくつした) 	<ul style="list-style-type: none"> ●オモチャ作り ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・14:00～どなたでも (学校図書館を考える会)
	おはなしの部屋	<ul style="list-style-type: none"> ●おはなし会 <ul style="list-style-type: none"> ・11:00～ 乳幼児 ・11:40～ 幼児から大人まで (マザーリーフ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> ・13:30～ 低・中学年 ・14:30～ 高学年 (町田ブックトークの会)
3月31日 (日)	ホール	<p>後路好章氏講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「赤ちゃんは、ことばをたべる」 ・10:30～ 赤ちゃんから大人まで (野津田・雑木林の会) 	<ul style="list-style-type: none"> ●中・高生によるおはなし会 <ul style="list-style-type: none"> ・14:00～ どなたでも ●エンディング ・16:00～ 全員で (実行委員会)
	中集会室		<ul style="list-style-type: none"> ●朗読会-声に出して表現しよう <ul style="list-style-type: none"> ・14:30～ 中学生～ (花いかだ)

第14期第17回図書館協議会報告

4月23日(火)9:30-11:50 中央図書館 於:6階ホール

・館長が他の会議出席のため図書館協議会には遅れるので、委員長が生涯学習審議会の第1期第6回について、報告した。ただ、協議会からは委員長しか委嘱されておらず委員長が欠席の時は、協議会の意見が反映されないという意見がでた。

・協議事項に入り、図書館評価への図書館側からの意見について担当職員から説明があり、協議会委員と意見交換を行った。

・館長報告に入り

1. 人事異動について、4月1日付について (p5参照)

2. 教育委員会4月12日(金)

報告事項(図書館)

・子どもまつりの実績報告について

・文学館の田河水泡展の結果報告

・三浦しをん展について〈住人十色〉展の結果報告と『舟を編む』展について

3. その他

① 「図書館事業計画」(案)に対する職員からの意見等について(資料が配布される)・・・意見の反映を検討するということだった。

② (仮称)忠生図書館の実施計画について(資料が配布される)ほぼ短時間での概要説明に終わったが、委員から予約本取り置きコーナーが図面化されているが決定なのかという意見とお話しコーナー内に書架が設置されているが、お話し中は本が選べないので不適當ではないかというとりあえずの意見が出た。

今後の予定として

③ 第5回町田市子ども読書活動推進会議

④ 蔵書点検にともなう中央図書館の休館

⑤ 耐震補強工事に伴うさるびあ図書館の休館(資料に基づいて)

⑥ リクエスト・借用調査について(資料に基づいて担当説明)

⑦ 図書館利用者アンケートについて

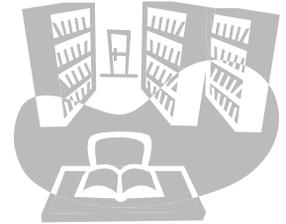
協議事項

1. 図書館評価については、13年度は変更なしとのことであった

2. 市立図書館と学校図書館の連携について

千葉県市川市の事例のDVDを見て、他市の参考とした。

次回、協議会委員のみによる会議を持ち、十分議論することとした。(文責:玉目哲廉)



☆イベントのお知らせ☆

・ゲストの語り手「おはなし泉」の皆さんによる「春のおはなし会」/5/26(日)14:00~15:30 市民フォーラム 3F活動室/申込不要 500円/主催:NPO法人まちだ語り手の会 042-795-3022(事務局)

・「ひらこう! 学校図書館」/6/22(土)10:30~16:30/日本図書館協会2F研修室 500円/記念講演「学校図書館の教育思想:図書館の自由から考える」中村百合子氏(立教大学准教授)、実践報告「わかるっておもしろい」市川詔子氏(旭川学校図書館を考える会)/学校図書館を考える全国連絡会(042-723-8887)

・2013年 全国大会「未来をひらく子どもの力・本の力」/7/31(水)&8/1(木)/記念講演<31日 10:30~12:00 柳田邦男「本と子どもの成長」、1日 14:30~15:45 和歌山静子「私の絵本の秘密」>/両日、実践報告・読書会・分科会等、有/会場:国立オリンピック記念青少年総合センター/参加費:宿泊有 7,000円、日帰り2日 4,000円、1日 2,500円/締切6/20(木)/主催:日本子どもの本研究会 問:03-3994-3961

町田市立図書館職員人事異動 (2013年4月1日付)

【転出】

八木 信枝 (財務部市民税課←堺図書館奉仕係)
曳地 遼 (建設部道路用地課←中央図書館奉仕係)
望月 恵 (下水道部下水道整備課←中央図書館奉仕係)
荒木 法夫 (議会事務局←さるびあ図書館奉仕係)

【退職】

八木 知文 (中央図書館庶務係) / 木田 正太郎 (中央図書館奉仕係)

【定年退職/新再任用職員】

渡部 敬介 (中央図書館奉仕係(AV担当)←中央図書館奉仕係担当係長)
井上 保 (堺図書館奉仕係←堺図書館奉仕係主査)
西方 和勇 (鶴川地域図書館奉仕係(鶴川駅前)←町田市民病院医事課)
守谷 信二 (文学館←生涯学習部長)



【転入】

佐藤 孝久 (中央図書館庶務係担当係長←総務部)
遠藤 昌男 (中央図書館庶務係技能主査←建設部道路補修課技能主査)
田村 千恵 (中央図書館奉仕係担当係長(サービス担当)←財務部資産税課管理係担当係長)
矢田 良徳 (中央図書館奉仕係(ハンディキャップ担当)←下水道部下水道総務課)
榊 真理子 (中央図書館奉仕係(管理担当(整理))←いきいき健康部保健対策課)
石阪 雅章 (中央図書館奉仕係(管理担当(リクエスト))←下水道部下水道整備課)
石井 一郎 (さるびあ図書館奉仕係←いきいき健康部介護保険課)

【昇格】

野口 修子 (中央図書館奉仕係担当係長←中央図書館奉仕係主査)

【再雇用】

松田 勝美(さるびあ図書館奉仕係) / 佐藤 金治(さるびあ図書館奉仕係) / 柏平 敏(堺図書館奉仕係)

【館内異動】

高松 昌司 (中央図書館奉仕係担当係長(忠生図書館準備・ICタグ・システム担当)←中央図書館奉仕係担当係長(サービス担当))
下元 奈々 (中央図書館奉仕係担当係長(システム更改・ICタグ担当)←中央図書館奉仕係担当係長(システム・ハンディキャップ担当))
鈴木 宏彰 (中央図書館奉仕係担当係長(児童・YA・システム担当)←中央図書館奉仕係担当係長(忠生・ICタグ・システム担当))
河合 篤 (中央図書館奉仕係(管理担当(リクエスト))←さるびあ図書館奉仕係)
渡辺 彰 (さるびあ図書館奉仕係←鶴川地域図書館奉仕係(鶴川駅前))
正木 真智子 (堺図書館奉仕係←中央図書館奉仕係(管理担当(リクエスト)))

嘱託員 (司書)

【退職】 小関 順平 (木曾山崎図書館奉仕係)

【採用】 大村 元余 (中央図書館奉仕係サービス担当)

【館内異動】

稲垣 智子 (中央図書館奉仕係管理担当(リクエスト)←鶴川地域図書館奉仕係(鶴川駅前))
二タ村 恵子 (中央図書館奉仕係管理担当(整理)←金森図書館奉仕係)
宮内 貴代 (さるびあ図書館奉仕係←中央図書館奉仕係)
久保 淳 (金森図書館奉仕係←中央図書館奉仕係)
東矢 利恵 (金森図書館奉仕係←中央図書館奉仕係)
望月 京子 (木曾山崎図書館奉仕係←さるびあ図書館奉仕係)
西原 優子 (鶴川地域図書館奉仕係(鶴川駅前)←金森図書館奉仕係)

かえで文庫

代表 伊藤倭子

成瀬センターの一室で地域の子どもたちのための文庫「かえで文庫」を継続して 30 余年、昨年の4月からは、2014 年から始まる成瀬センター建替え工事と、耐震検査で旧校舎老朽化のため利用不可となり、センター敷地内の元あおぞら学童クラブの建物の中に移設して、開庫しています。

この文庫は、公立図書館僻地の子どもたちに少しでも読書に親しんでもらおうと、1979 年秋、旧南二小の跡地が地域センターとなったのを機に、その中の一室を文庫として使わせて下さいと運動して得た大切な「子どもの本のある遊び場」でした。開室当時は、子ども達の行列で大変な賑わいでした。多くの子どもが文庫を利用し、多くの大人が子どもと本に携わり、多くの地域の方々が支えてくれました。

時代は変り子どもを取り巻く環境も大きく変りましたが、子どもの近くに本を！ 本を手渡す人を！ との願いは変わりません。

成瀬センターの建替え工事が始まると、今のあおぞらの建物も取り壊されるので、次なる移設先を1年近く探していましたが、やっと、成瀬中央小学校の一部屋を、かえで文庫として使わせてくれることになりました。市民協働課、図書館、成瀬中央小保護者会の皆さんや先生方、多くの方にお力添えいただきました。ありがとうございます。

現在は、水曜日 & 土曜日の2時～4時半迄(第5週・祝日は休み)開室しています。どうぞおいでください！ 2014 年の7月頃、成瀬中央小に移動する予定です。2015 年秋完成予定の新しい成瀬センターに戻って、再び、楽しい文庫に集えることを、子どもたちも楽しみにしています。(連絡先:042-725-3940 伊藤)



4月のかえで文庫 スタッフ・大澤里子

わたしは4月の「かえで文庫」が大好きです。すくすく伸びた若葉が、陽に輝くように、4月の子どもたちは輝いています。

転がるように文庫の部屋に入ってきて、得意そうに胸を張ります。そして、文庫のカードには新しい学年が書かれます。ママにしがみついていた赤ちゃんが、本棚に向かい這っています。這っていた子が歩いています。「読んで」と、絵本を持ってきた子は、やがてソファーに座り自分でページをめくり始めます。

そのまなざしの真剣さは、時に近寄りたいたい気がします。心の中に世界が広がっているのです。動物とお話したりや花の香りを感じています。お月さまの世界に行き、森のクマと出会ったりしているのでしょうか。「クスッ」と、もれる小さな笑い声につられ、わたしもつい微笑んだりします。

本の題名を忘れても、読んだ場所を覚えていなくてもいいのだと思います。ワクワクやハラハラの体験は、心のどこかに大切にしまわれています、きっと。

「かえで文庫」の小さな部屋には、本の数だけ違う世界があります。本は黙って開いてくれる人を待っています。

「ねえ、ねえ。今日学校でね」

「あのね、先生がね」

身振り手振りで、話す子がいます。

あれっ？ この子たち、こんなに上手にお話してる。

いつから変わったの？

いつの間にか、ですか？

うっかり者のわたしが、いつの間にかに気がつくのは、いつも4月です。

本棚の本は変わらなくても、確実に変わってゆく子どもたちです。その成長や変化も、きっと本たちは見えています。やさしく見守っています。わたしの変化も見られているのでしょうか。もうすぐ4月です。

いつの間にか、を、いくつ発見できるでしょうか。

くかえで文庫だより NO. 129号 2013. 3. 13発行より)

4月の初旬に念願のトルコ旅行をしてきた。熱気球に乗って大空から眺めた風景は格別の趣があったし、岩窟をビルの8階分も掘り下げた地下都市は



内部

想像以上のスケールの大きさで息を飲んだ。旅の後半に訪ねたトルコ西北部のエフェスには世界屈指といわれるギリシャ・ローマ遺跡があった。幅11mの立派な大理石の道路が一直線にのびていて両側には商店が並び街灯さえもついていたらしい。

大劇場や体育場をすぎると目の前に図書館がみえ

てくる。ローマ帝国のアジア州執政官だったケルススの死後にその息子が



正面玄関

父の墓室の上に建てたものといわれている。平屋だが正面には知恵、運命、学問、美德の四つの意味をそれぞれ象徴する大きな女性像がある。ここには一万二千巻の書物が所蔵されていたといわれる。上流階級の居住区が近くにあり、エフェス遺跡のなかのまん中に位置していることを考えると古代の人々も大いにこの図書館を利用したに違いない。(会員)

図書館友の会全国連絡会 第7回2013年度 会員総会 (5/27・月/於:日本図書館協会2階研修室)

表記会にて下村博文文部科学大臣宛て下記要望書が提出されます。

公立図書館の振興を求める要望書

私たちは、公立図書館の振興発展のために各地で活動を行なってきました。

今日の公立図書館の環境は、地方公共団体の財政状況の悪化により、資料費や人員の削減ばかりか、指定管理者による民営化など、コスト削減を目的とした効率化が進行しています。図書館経営の責任放棄のみならず、官製ワーキングプアと呼ばれる人々を大量に生み出し、自らが「格差社会」を拡大する状況となっています。

この先の分からない不安な空気が社会に広がっているなかで、ひとりひとりの人間が自ら考え判断する力を持つことが、新しい社会を切り開く原動力になると考えます。その根源となるのは学問であり、迂遠であっても、知力、文化力、技術力といった基礎的な力を身につけた人間が育つ環境を整備する以外には方策はありません。また、このことが民主主義社会を支えることにつながり、わが国の繁栄にもつながるものと考えます。

そのためには、公立図書館が地域の情報拠点としての役割を果たすために国が果たすべき役割は大きいと考えます。私たちは図書館の重要性を全国に発信すること、そして全国の図書館づくりを支える施策を実施することを願っています。

貴省は、学校図書館担当職員(学校司書)配置に対する財政措置や学校図書館図書整備5か年計画の拡充継続の財政措置など、学校図書館振興への大きな一歩を踏み出されました。また、昨年「公立図書館の設置及び運営の望ましい基準」の改正に当たって、パブリックコメントに寄せられた多くの意見に対し真摯に検討されたと私たちは評価しています。このことにお礼を申し上げます。

公立図書館の振興のため以下要望いたします。ご多用のところ恐縮ですが、6月末日まで図書館友の会全国連絡会代表に文書でご回答をお願いします。

要望事項 *説明文は省略します

1. 東日本大震災の被災地域の図書館に対する支援策の実施
2. 公立図書館の振興
 - (1) 市民参加で中長期図書館振興政策の策定
 - (2) 補助金・交付金等措置の実施
 - (3) 図書館管理運営を指定管理者制度、業務委託等民営化の対象から除外
 - (4) 図書館協議会の設置促進と住民代表枠の設置
 - (5) 図書館で働く官製ワーキングプアの労働環境の改善
 - (6) 地域資料や郷土資料の電子化のための予算計上
 - (7) 県域を越えた資料郵送費の無料化の実現
3. 国立国会図書館の書誌データを全国に

以上





ひろば

◀例会報告▶ 4/17(水)18:00-20:00
中央図書館中集会室
会報休刊

出席者:石井、伊藤、久保、黒田、
玉目、前田、増山、丸岡、
三谷、目黒、桃沢、山口

◇2012 年度報告

- 会計報告(石井)・・・次回例会で
- 活動報告(増山)
 - ・ 講演会「フランスの公共図書館の試み」
7/14(土)14:00～16:30 講師:辻由美氏
 - ・ 講演会「トキを見守って 30 年」
7/28(土)14:00～16:00 講師:国松俊英氏
(共催:野津田・雑木林の会)
 - ・ 公開学習会「町田市民と図書館」
すすめる会の歴史から学ぶ/桃沢さん他会員
10/20(土)14:00～16:30
 - ・ 講演会「2012 年 どの本読もうかな?」
3/10(日)14:00～16:30 講師:広瀬恒子氏
 - ・ 会報「知恵の樹」発行
167号(4/18付)～174号(3/27付)/8回
 - ・ 臨時例会「田井郁久雄さんを囲んで」
3/16(土)17:00～20:30 於:くいものや熊

◇2013 年度

新世話人が決まりました。相変わらずの顔ぶれです。

- ・ 代表・・・増山
- ・ 副代表・・・玉目、伊藤、丸岡
- ・ 会計・・・石井
- ・ 印刷室、会議室予約・・・玉目
- ・ 例会記録(囑託職員)・・・前田、目黒
- ・ 図書館友の会全国連絡会 ML 情報転送・・・手嶋

会報発行に関する作業

- ・ 編集・・・玉目、増山
- ・ 印刷他・・・伊藤、丸岡、桃沢、玉目、増山
- ・ 会報発送・メディア関係ポストイン・・・石井

● 活動計画

図書館見学をしよう!

□「甘草屋敷子ども図書館」7月頃(担当:増山)
※甲州市立塩山図書館の分館で、甘草屋敷という重要な文化財の一角を子ども図書館に使用しているユニークな

守谷信二さんの 第二の人生を祝って!

去る4月 30 日(火)18:00～「くいものや熊」に於いて「退職祝い」の会を催しました。図書館人事異動(5p)にもある通り、古巣「文学館」で再任用として働きます。会から筆ペンをプレゼント。参加者は、守谷、手嶋、玉目、山口、近藤、吉岡、国松、増山、桃澤、石井、三谷、久保、黒田、幹事は伊藤、丸岡、の計 15 名。(敬称略)

2013年度 第3回 文学館(主催)で楽しむ
おとなのためのおはなし会
6月 20 日(木)10:30～11:30
町田市民文学館 2F大会議室
プログラム (通算73回)

- * 町田ゆかりの作家紹介 加納朋子 菊池とも子
 - * 金ちゃん蛭 (与謝野晶子作) 大久保昭子
 - * 999枚の金貨 (トルコの昔話) 増田佳恵
 - * チワンの錦 (中国の昔話) 西村敦子
- 直接会場へどうぞ! 無料 保育有
(町田市民文学館 ☎042-739-3420)

施設。田井さんよりの情報。塩山で下車日帰り可能。
□「岡山市立図書館」1月下旬～3月(担当:手嶋)
□「富山県中新川郡舟橋村立図書館」10月末頃
(担当:伊藤、桃沢)

講演会

竹信三恵子さんを講師に日本の労働問題・雇用問題について学びたい。市職労と共催で。講師依頼は手嶋さんをお願いする。10月頃ではどうか?

◇その他

● 図書館子どもまつり・・・3月末日の4日間行われたイベントには900人を超える参加者で賑わった。乳幼児の親子連れが多かったこと、肝心の小学生が少なかったことなどが話題に。ホールでの子ども向け映画会も、毎週図書館が金曜日に行っている常連の大人が殆どの席を占めてしまい、子どもが観ることが出来なかったとの意見あり。(p1-3参照)

● 来期協議会委員について・・・すすめる会に「町田市立図書館協議会第15期委員」(任期2013年8月1日～2015年7月31日)3名推薦についての依頼状が来た。14期委員として、水越さん・玉目さん・山口さんに出てもらっているが、山口さんは15期では学識経験者枠に、水越さんが退かれるため、引き続き受けて下さる玉目さんの他2名選出することに。会として、「町田の学校図書館を考える会」の清水陽子さんをお願いする他、1名考慮中。

お詫びと訂正 前号「・・・鳥越信氏も昨年亡くなった」の記述は誤りで、今年亡くなりました。

あとがき

図書館友の会全国連絡会のMLには、図書館の公共性が民主主義社会にとってなくてはならないと信じている人達の意見が毎日数多く行き交う。今、最も多くの関心を寄せているのは TTSUTAYA に委託した武雄市の図書館問題。マスコミをも捲き込んだ樋渡市長による巧みな戦略で進む武雄の町づくりは、地域主権時代を逆行する町壊しに他ならないと、バイアスがかかった情報に惑わされない市民は嘆く。そして、図書館から町の未来が見えるとして、民主主義を取り戻す作業を始めなければならない、と熱く語る。流れてくる情報を真か偽か見極める力をつけたい。(M4)

